

# 気候変動

ポジションステートメント





この意見表明書は、ICMMメンバーの気候変動に対するアプローチを示しています。気候変動は、現代の重要な世界的課題の一つです。気候変動、水資源、生物多様性、社会経済発展の間の密接な関係を考えると、パリ協定の目標に沿った行動は、持続可能な開発目標を達成するために重要です。この統合的アプローチは、ICMMの採鉱原則の中心にあるものであり、責任ある採鉱と、持続可能な開発への鉱物および金属の貢献を強化するという当社の長年の取り組みを反映しています。

ICMMの企業メンバーは、脱炭素化技術に不可欠な材料を責任を持って供給することで、ソリューションの一部となり、ネットゼロ経済への移行における、ホストコミュニティ・国のレジリエンスを強化することにコミットしています。

私たちには個別の脱炭素化目標があり、この意見書に記載された共同のコミットメントを超えることもあります。このコミットメントは世界の鉱業および金属産業の3分の1を占める企業がともに持つ意欲を表しています。私たちは、他の企業のバリューチェーンを脱炭素化する材料を供給するとともに、より幅広い業界、サプライヤー、顧客が私たちのバリューチェーンの脱炭素化に参加することを奨励したいと考えています。また、35の鉱業・鉱物協会メンバーと緊密に連携し、より幅広い業界における気候変動対策を加速していきます。

この更新された意見表明書は、2019年の気候変動に関する意見表明書に代わるものであり、遡及的に適用されるものではありません。

## ICMMの採鉱原則と意見表明書との関係

すべてのICMMメンバー企業は、メンバーシップの条件としてICMMの採鉱原則を実装しています。これには、その事業全体に10の原則を実装する、グローバル・レポーティング・イニシアチブ (GRI) のサステナビリティ・レポーティング・フレ



ームワークに沿って報告する、ICMMのコミットメントが満たされているという独立した外部保証を取得するというコミットメントが含まれます(このフレームワークの詳細については、<https://www.icmm.com>を参照してください)。

気候変動に関連するICMMの採鉱原則は次のとおりです。

- 原則4: 十分な科学的根拠に基づき、利害関係者のリスク認識に対して説明責任を負う、効果的なリスク管理戦略・システムを実装する。
- 原則6: 水資源管理、エネルギー使用、気候変動などの環境パフォーマンス問題の継続的な改善を追求する。
- 原則7: 生物多様性の保全と土地利用計画への統合的アプローチに貢献する。
- 原則8: 金属や鉱物を含む製品の責任ある設計、使用、再利用、リサイクル、廃棄に関するナレッジベースとシステムを促進し、サポートする。
- 原則10: オープンで透明性のある方法で、持続可能な開発の課題と機会に主要な利害関係者を積極的に関与させる。進捗状況とパフォーマンスを効果的に報告し、独立した立場から検証する。

ICMMはまた、採鉱原則に従って、特定の問題に対するメンバーのコミットメントについてさらに詳しく説明する、多くの意見表明書とパフォーマンスの期待事項を作成しました。企業メンバーは、これらの要件をポリシー、システム、またはオペレーション慣行に組み込むことにより、要件を遵守します。

ICMMメンバーは次のことを認識します。

- 社会と経済のすべての分野における、気候変動の脅威に対する緊急の世界的対応の必要性。
- 世界の平均気温上昇を2°Cより低く、可能であれば1.5°Cに抑える努力をするというパリ協定の目標を支持する必要性。
- エネルギーとモビリティの移行に不可欠な鉱物の持続可能な生産に貢献し続け、バリューチェーンに沿ってパートナーや主要サプライヤーと協力することにより、低炭素経済への世界的な移行をサポートする上で鉱業および金属セクターが果たす重要な役割。
- 鉱物の抽出と使用によるCO<sub>2</sub>排出量を削減し、低炭素エネルギーミックスへの移行の一環として低排出技術の使用を加速する、市場ベースの共同アプローチをサポートする必要性。同時に、化石燃料を国内で供給している一部の発展途上国が、その移行を行う際に直面する実際的な課題も認識しています。
- その気候・エネルギー政策は技術的に中立であり、最小のコスト削減ソリューションを可能にするために市場ベースのアプローチに依存する必要があります。
- 温室効果ガス排出量の削減を推進し、イノベーションを奨励するために、他の市場メカニズムとともに、広範囲にわたる予測可能で長期的なカーボンプライシングが果たすことができる重要な役割。
- すべての利害関係者が気候変動のリスクと機会を測定し、これらに対応できるよう、気候関連の開示を提供することの重要性。
- 気候緩和と適応における自然に基づくソリューションの役割。
- 削減が困難な排出に対するカーボンオフセットの役割を認識した、CO<sub>2</sub>排出量削減イニシアチブおよび技術の優先順位付け。
- 生産における資源効率を高め、再利用とリサイクルを促進することにより、鉱物の抽出と使用に関連するCO<sub>2</sub>排出量を削減するサーキュラーエコノミーの役割。

ICMMの企業メンバーは、ICMMの採鉱原則に基づく既存のコミットメントに加えて、2023年までにこれらがまだ実施されていない場合に次のことを実行することを約束します。

## 個別に

- **スコープ1および2の目標の設定:** 有意義な短期および／または中期目標を通して、2050年までにスコープ1および2の温室効果ガス排出量のネットゼロを達成するための明確な経路を構築します。
- **すべての重要な排出源をカバーする:** 私たちは、組織の境界や重要性に関する温室効果ガス・プロトコルの定義に沿って、すべての重要な排出源をカバーすることを目指します。
- **スコープ3の温室効果ガス排出量に対するアクションの加速:** 私たちは、スコープ3は全体的な影響を最小限に抑えるために重要であると認識しており、できるだけ早く、または2023年までに、スコープ3の目標を設定します。スコープ3のすべてのアクションは、生産者、サプライヤー、顧客の共同努力に依存しますが、一部の鉱物は、他の鉱物よりも大きな技術的および連携上の障壁に直面しています。私たちは、これらの障壁を克服し、バリューチェーン全体で信頼できる目標設定と排出量削減を可能にするパートナーシップを推進する上で主導的な役割を果たします。
- **絶対的削減に焦点を当てる:** 一部のオペレーションでは、短期的および中期的には絶対的な目標よりも強度の方が適切な場合があります。私たちは強度目標が使用される場合、それに対応する温室効果ガス排出量の絶対的な増加または減少を開示します。
- **堅牢な方法の適用:** パリ協定の目標に沿った目標設定方法使用し、使用する仮説を詳細に開示します。
- **意思決定への気候変動の統合:** 気候変動のリスクと機会がビジネスの意思決定において確実に考慮されるように、気候関連の財務情報開示タスクフォースの推奨事項に沿ったガバナンス、エンゲージメント、開示プロセスを実装します。
- **適応と緩和:** 地域の機会と課題を考慮して、ネットゼロの目標をサポートできるオペレーションレベルの適応および緩和ソリューションを推進します。
- **コミュニティのレジリエンスのサポート:** 共有する気候変動のリスクと機会についてホストコミュニティと関わり、ホストコミュニティが気候変動の物理的影響にどのように適応できるかを理解するのを助けます。
- **オープンで透明性を持った開示:** スコープ1、2、3の進捗状況を毎年報告し、パフォーマンスに関する外部検証を取得し、気候関連の財務情報開示タスクフォースと連携して報告します。

## 共同で、または個別に

- 効果的な気候変動政策の策定を支援するために、政府、同業者などと協力します。
- イノベーションを促進し、低排出技術を開発・展開するとともに、エネルギー効率を改善し、エネルギーミックスに再生可能エネルギー供給を組み込むプロジェクトを実施することにより、同業者と協力して、温室ガス排出量削減の取り組みを支援します。
- 温室効果ガス排出量削減を推進する炭素価格設定およびその他の市場メカニズムをサポートし、排出量削減に向けた最小コストの経路を提供し、イノベーションを奨励する予測可能な長期的価格設定をサポートします。<sup>1</sup>

1. 意見表明書は、国内の準拠法の要件を代替したり、無効にすることを意図したものではなく、矛盾または重複が生じた場合は、準拠法が優先するものとします。



我々のメンバー企業は世界の金属鉱業業界の3分の1を占め、主要パートナーと協力して、持続可能な開発に向けたリーダーシップ、行動、革新を推進し、最終的には社会に積極的な貢献を果たします。

コラボレーションを通じて、ICMMメンバー企業は安全、平等そして持続可能な世界に向けた責任ある鉱物と金属の生産に関する基準を定めます。

この資料には一般的なガイダンスのみが含まれており、適切な技術的専門知識の代わりに使用されるべきではありません。本書に含まれる情報は、発行日時時点で検証のために合理的な予防措置が取られていますが、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証もなしに配布されています。この文書は、国際金属・鉱業評議会（「ICMM」）のメンバーおよびその他の関係者の意見を取り入れて作成されています。ただし、これを採用および適用する場合は、各企業メンバーが責任を持つものとします。いかなる段階においても、ICMMまたは個々の企業は、他の企業メンバーの失敗または賠償責任について責任を負わず、明示的にこれを否認します。

各ICMM企業メンバーは、その施設で管理慣行を決定および実装する場合には責任を負っており、ICMMは、管理慣行の決定または実装に関連する責任を明示的に否認します。さらに、ICMMとそのメンバーは、採掘サイトや施設での死亡ゼロという野心的な目標に取り組んでいますが、採掘は本質的に危険な産業であり、残念ながらこの目標はまだ達成されていません。

いかなる場合でも、ICMM（その役員、取締役、関連会社、およびこの出版物への寄稿者、レビュアー、または編集者を含む）は、本書の使用または依存により、または、この一般的なガイダンスに基づいて、計画、ポリシー、ガイダンス、または決定などの実施により生じるいかなる種類の損害についても責任を負わないものとします。

ICMM、その役員、および取締役は、本文書の使用または信頼に起因または関連する直接的、偶発的、特別、懲罰的、結果的、または間接的な損害に対して、衡平法、慣習法、不法行為、契約、禁反言、過失、厳格責任、またはその他の理論の下にあるかないかにかかわらず、いかなる性質の責任も明示的に否認します。（エラーがないこと、またはユーザーの目的に適していると想定せずに）この出版物を解釈し、使用した場合の責任は、ユーザーとICMMにあります。ICMMの役員および取締役は、この出版物またはこの出版物で参照されているその他の資料の誤りまたは不作為について一切責任を負わず、これを明示的に否認します。

特に明記されている場合を除き、表明された見解は、ICMM、その役員、または取締役の決定または述べられているポリシーを必ずしも表しておらず、この文書は、ICMMのメンバーが採用する義務を負うポジションステートメントまたはその他の義務的なコミットメント。

ICMM、その役員、および取締役は、リンクされたウェブサイトのコンテンツまたは信頼性について責任を負わず、それらについての表明も行いません。また、リンクはいかなる種類の支持をも表明するものではありません。私たちは、リンクされたページの可用性を制御することはできず、リンクされたページに対する責任を負いません。

国、地域、都市、地域、またはその当局の法的地位、または国境や境界の境界に関して、この出版物で使用されている指定および資料の表示は、ICMM、その役員、またはその取締役側の何らかの意見の表明を意味するものではありません。さらに、この出版物での特定のエンティティ、個人、ソース資料、商号、または商業プロセスが言及されている場合、ICMM、その役員、または取締役がそれらを承認するものではありません。

この免責事項には、英国法に準拠し解釈されるものとします。

ICMM  
34–37 Liverpool Street  
London EC2M 7PP  
United Kingdom  
+44 [0]20 7467 5070  
info@icmm.com  
icmm.com

